

大学院理工学府 学位論文評価基準

			学位論文／ポートフォリオ評価基準	審査委員の体制	審査の方法
博課程前期	機械・材料・海洋工学専攻	TED	1. 適切な論文テーマが設定され、独創的な研究であること 2. 得られた成果の学術的あるいは実用的貢献度が高いこと 3. 得られた成果に信頼性があること 4. 論文の主旨が論理的に展開され、構成及び表現技法が適切であること	学位論文を提出した当該学生の指導教員を含め、学位論文の内容に関連する授業科目の教員3人以上で構成する。	・論文審査および最終試験により評価判定を行う。 ・論文審査を行った後、最終試験は、論文発表会における発表及び質疑応答などを口頭又は筆記により行う。 ・最終試験は、学位取得要件の単位数を修得し、かつ修士論文を提出した者について行う。
		PED	1. 研究テーマの明確さと妥当性 2. 実験方法及び考察などの妥当性 3. 当該研究領域における学術上の意義 4. ポートフォリオの型式、記述の適切性 5. 文献の適切さ 6. 首尾一貫した論理構成	ポートフォリオを提出した当該学生のスタジオ科目担当教員を含め、ポートフォリオの内容に関連する科目の教員3人以上で構成する。	・ポートフォリオ審査および最終試験により評価判定を行う。 ・ポートフォリオ審査を行った後、最終試験は、発表会における発表及び質疑応答などを口頭又は筆記により行う。 ・最終試験は、学位取得要件の単位数を修得し、かつポートフォリオを提出した者について行う。
	化学・生命系理工学専攻	TED／PSD	1. 研究課題設定が、専門分野の科学技術水準に照らして適切であり、意義があること 2. 研究課題解決のための方法論が、専門分野の科学技術水準に照らして適切であり、意義があること 3. 修士論文の構成と展開が論理的であり、独創性が含まれ、得られた成果に学術上又は工学的な意義があること	学位論文を提出した当該学生の指導教員を含め、学位論文の内容に関連する授業科目の教員3人以上で構成する。	・論文審査および最終試験により評価判定を行う。 ・論文審査を行った後、最終試験は、論文発表会における発表及び質疑応答などを口頭又は筆記により行う。 ・最終試験は、学位取得要件の単位数を修得し、かつ修士論文を提出した者について行う。
		PED	1. 研究テーマの明確さと妥当性 2. 実験方法及び考察などの妥当性 3. 当該研究領域における学術上の意義 4. ポートフォリオの型式、記述の適切性 5. 文献の適切さ 6. 首尾一貫した論理構成	ポートフォリオを提出した当該学生のスタジオ科目担当教員を含め、ポートフォリオの内容に関連する科目の教員3人以上で構成する。	・ポートフォリオ審査および最終試験により評価判定を行う。 ・ポートフォリオ審査を行った後、最終試験は、発表会における発表及び質疑応答などを口頭又は筆記により行う。 ・最終試験は、学位取得要件の単位数を修得し、かつポートフォリオを提出した者について行う。
	数物・電子情報系理工学専攻	TED／PSD／理学	1. 論文で取り上げた研究課題が工学的な有用性を有する、あるいは、理学的な普遍的価値を有する等の適切性について 2. 論文で示された研究方法(実験方法、計算方法など)の適切性について 3. 論文で示された研究結果及び考察の妥当性、論理性、独創性について 4. 論文の構成と表現技法の妥当性について	学位論文を提出した当該学生の指導教員を含め、学位論文の内容に関連する授業科目の教員3人以上で構成する。	・論文審査および最終試験により評価判定を行う。 ・論文審査を行った後、最終試験は、論文発表会における発表及び質疑応答などを口頭又は筆記により行う。 ・最終試験は、学位取得要件の単位数を修得し、かつ修士論文を提出した者について行う。
		PED	1. 研究テーマの明確さと妥当性 2. 実験方法及び考察などの妥当性 3. 当該研究領域における学術上の意義 4. ポートフォリオの型式、記述の適切性 5. 文献の適切さ 6. 首尾一貫した論理構成	ポートフォリオを提出した当該学生のスタジオ科目担当教員を含め、ポートフォリオの内容に関連する科目の教員3人以上で構成する。	・ポートフォリオ審査および最終試験により評価判定を行う。 ・ポートフォリオ審査を行った後、最終試験は、発表会における発表及び質疑応答などを口頭又は筆記により行う。 ・最終試験は、学位取得要件の単位数を修得し、かつポートフォリオを提出した者について行う。
博士課程後期	機械・材料・海洋工学専攻	TED	1. 適切な論文テーマが設定され、独創的な研究であること 2. 得られた成果の学術的あるいは実用的貢献度が高いこと 3. 得られた成果に信頼性があること 4. 論文の主旨が論理的に展開され、構成及び表現技法が適切であること 5. 当該分野の発展に寄与する本質的で新しく高度な研究成果を含むこと 6. 論文内容は外部の学術論文誌に掲載しうる水準にあること	学生の指導教員を含め、学位論文の内容に関連する授業科目の教員5人以上で構成する。	・課程博士の審査にあつては、論文審査及び最終試験により評価判定を行う。 ・最終試験は、学位論文の審査終了後、学位論文を中心としてこれに関連する分野の科目及び外国語(自国語以外の1ヶ国語)について筆記又は口頭により行うものとする。ただし、博士課程前期又は博士課程後期在学中に外国語(自国語以外の1ヶ国語)を履修し、その試験に合格した者については語学試験を免除する
	化学・生命系理工学専攻	TED／PSD	1. 研究課題設定が、専門分野の科学技術水準に照らして適切な独創性があり、意義があること 2. 研究課題解決のための方法論が、専門分野の科学技術水準に照らして適切であり、意義があること 3. 博士論文の構成と展開が論理的で独創的であり、得られた成果に学術上又は工学的な意義があり、普遍的な価値があること		
	数物・電子情報系理工学専攻	TED／PSD／理学	1. 論文で取り上げた研究課題が工学的な有用性を有する、あるいは、理学的な普遍的価値を有する等の適切性について 2. 論文で示された研究方法の適切性(実験方法、計算方法など)について 3. 論文で示された研究結果及び考察の妥当性、論理性、独創性について 4. 論文の構成と表現技法の妥当性について		
	専攻共通	PED	1. 論文で取り上げた研究課題が工学的な有用性を有する等の適切性について 2. 論文で示された研究方法の(実験方法、計算方法など)適切性について 3. 論文で示された研究結果及び考察の妥当性、論理性、独創性について 4. 論文の構成と表現技法の妥当性について		